



4月1日運行開始したコミュニティバスの利用者が
4月15日現在で3,394人になりました。
もっと気軽にご利用下さい。



- 一般会計……………2～3ページ
- 一般質問……………5～8ページ
- 連合審査会・意見書……………9ページ
- 一歩先の防災……………10ページ

予算

集中166億円

一般会計

自立する

地方自治体

3月例会は、3月1日から22日までの会期で開催されました。
17年度の当初予算をはじめ、補正予算、収入役の廃止、公共下水道事業の地方公営企業法の適用に関する条例の整備などの議案二十五件と、発議三件、意見書二件について審議し、議案及び発議については可決されましたが意見書については否決となりました。また、一般質問では、九人の議員が町政全般についてたずねました。

地方は三位一体の改革や国の地方財政計画により大変厳しい財政状況となっています。当町においても財政構造改革を進めるにあたり、昨年からの議会も含めさまざまな角度から検討が行われています。さらに、17年度から改革可能な施策については早急な取組みが行われます。

七三億円を予算化

(一〇・八%の減)

町の仕事の大部分を担う
一般会計予算額は、七三億
四、八〇〇万円、昨年より
八億九、三〇〇万円の減と

なっています。効率的な財政運営が求められる予算となっています。
歳入の主なもの、町民税、固定資産税の町税が二四億九、四〇〇万円、国から交付される地方交付税が二〇億八、七〇〇万円、国・県からの補助金が七億七、七〇〇万円、繰入金四億五、〇〇〇万円となっています。

事業 なご

選択して

**こども未来館
施設運営に
一、三八〇万円**

民生費では、こども未来館において、一時保育の実施などに子育て支援に二、三八〇万円、身体障害者施設訓練等支援事業に四、三四〇万円、老人保健福祉計画に二〇〇万円などを予算化されています。

**コミュニティバス
四、四〇〇万円**

歳出については、総務費では通勤・通学者や高齢者をはじめとする住民の日常生活を支える公共交通コミュニティバスの運行に四、四〇〇万円、男女共同参画事業に二六八万円、構造改革プログラム策定業務に八一二万円などを予算化。

**環境問題の取組・
拡大などに
一六〇万円**

衛生費では、ISOの取組を家庭や学校へと拡大し、環境問題の重要性を推進するために一六〇万円、健康対策に五、〇〇〇万円、感染症予防対策二、六四〇万円などとなっています。

**農業の振興に
六〇〇万円**

農林水産費では、農業振興計画策定のために六〇〇万円、三里松原松くい虫防除対策に一、二六〇万円などを予算化。

**まつり岡垣
及び春まつり
七六〇万円**

商工費では、まつり岡垣及び春まつりに七六〇万円、消防費では防火水槽設置などに六二〇万円、教育費では小学校に防犯カメラの設置などに八五〇万円、学童保育に二、六五〇万円を予算化しました。

平成17年度当初予算

会計名	予算額(万円)	前年比(伸び率%)	
一般会計	73億4800	▲10.8	
特別会計	国民健康保険事業	29億1614	3.3
	老人保健事業	36億8176	▲3.1
	住宅新築資金等貸付事業	327	▲22.8
水道会計	7億7645	▲17.8	
下水道会計	19億4897	8.5	



年々厳しい財政状況

議会の改革と 活性化に ついて

行財政構造改革に伴ない、議会においても議会活性化について検討・協議を重ねました。

まず大きく予算、議会づくり、議員の資質の向上など5項目を設定し、それぞれを細分化して各常任委員会、全員協議会等で検討・協議を行ないました。

17年度すぐに取り組みできる事項、中期（半年）にわたって検討が必要な事項、長期（17年度中）に検討が必要な事項に分けて取組んで行く事に決まりました。

◆主な協議事項と取組状況について◆

1. 予算に関するもの

- ① 視察研修旅費 恒常的な特別委員会視察研修旅費は廃止（17年度から）
- ② 議長交際費 削減（17年度から）
- ③ 議員費用弁償 中期に検討
- ④ 議員報酬、期末手当 長期に検討
- ⑤ 議員定数 長期に検討

2. 開かれた議会づくり

- ① 休日・夜間の議会開催 中期検討（具体的に推進）
- ② 議会のテレビ放映及び会議録のインターネット公開 長期に検討
- ③ 傍聴申請の簡素化 開催日前日の正午まで（今までは開催日の2日前）

3. 議員の資質の向上

- ① 審議時間のスピードアップ 的確な質疑・答弁のための研修会を開催

4. 議会運営に関するもの

- ① 議会日程の検討 一般質問を会期の初めに実施（17年3月定例会から）
- ② 会派の導入 長期に検討

5. 附属機関等への議会選出のあり方

- ① 付属機関、任意団体、外郭団体への議員の選出のあり方 中期に検討



平成17年 3月定例会で決まりました

件名	審議結果
条 例 改 正	
収入役の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	賛成多数可決
収入役の事務の譲渡に関する条例の制定について	賛成多数可決
課設置条例の一部を改正する条例	賛成多数可決
都市公園条例の一部を改正する条例	可決
特別会計条例の一部を改正する条例	賛成多数可決
水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数可決
水道事業給水条例の一部を改正する条例	賛成多数可決
水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数可決
農業集落排水施設整備基金条例の一部を改正する条例	賛成多数可決
個人情報保護条例の制定について	可決
老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の制定について	可決
ふれあい宿泊施設若潮荘の設置及び管理に関する条例の制定について	可決
補正予算（16年度）	
一般会計補正予算（第6号）	賛成多数可決
国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
老人保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
農業及び漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
水道事業会計補正予算（第3号）	可決
17年度予算	
一般会計予算	賛成多数可決
国民健康保険事業特別会計予算	可決
老人保険事業特別会計予算	可決
住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決
水道事業会計予算	可決
下水道事業会計予算	可決
認定	
道路線の認定及び廃止について	可決
特別委員会の廃止	
合併に関する調査特別委員会	決定
中心市街地活性化に関する調査特別委員会	決定
中西部地域観光開発に関する調査特別委員会	決定
意 見 書	
介護保険制度の改善を求める意見書	賛成少数否決
障害者に過重な負担を強いる「応益負担」導入をやめ障害者福祉制度の充実を求める意見書	賛成少数否決



石井 要祐

中心市街地活性化について

問 町が進めている活性化事業は駅前情報プラザ人の駅の建設だけのように思われている感があります。

答 事業計画の作成時から経済情勢の変化もあり厳しい状況ではありますが構造改革等の動向を見極めながら判断したいと考えています。



竹内 和男

住民避難施設の安全確保は問 災害時の避難施設である公共施設、特に学校・公民館等の安全確保のため、同施設の改修を急ぐべきだと考えるがどうですか。

答 建物の補強等、できる部分から行ないたいと考えています。山田小学校を除く小中学校や町立の公民館は、新耐震基準前に建設されたままとなっています。避難施設の建替え及び改修については多額の費用を要することから町の財政状況を見ながら、建物の補強等できる部分から行ないたいと考えています。

問 事業計画のほとんどの予算が国の施策変更でなくなった今、活性化区域内を高齢者にやさしい特徴のあるまちづくりを行ない、其処に必要な店ができていくなどの見直しが必要と考えます。

答 今後見直しも含めて検討していきます。

問 歩道設置について

問 新海老津信号より世々町歩道橋までの歩道設置について、15年12月議会の質問後どのように進んでいきますか。

答 財政状況等の変化する中で工事の着手は赤井手・東高陽線の歩道工事後になる予定です。

自主防災組織の取組は

自主防災組織の立上げを計画

問 自主防災組織の確立を

答 まずはモデル地域で組織の立上げを計画

問 自主防災組織の確立を

答 「同報系」は検討中、「移動系」は古くなつたものから買いかえます。

問 自主防災組織の確立を

答 自主防災組織の立上げを計画します。

新海老津信号からの歩道設置は

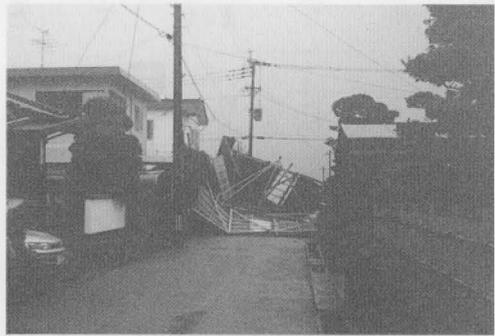
計画的・段階的に進める



歩道の設置が急がれます

問 地区より消火栓設置要望をしたが要望区域は消防法で定めた水利基準を満たしているので設置できない

答 今後は消防水利基準のみならず、地域の実情を考慮しながら検討していきます。



台風による倉庫の倒壊

達手段として欠かせない。「同報系」と「移動系」の整備を計るべきと思います。

答 全体的な水路改良には住宅密集で困難があるので、まず合流部分の柵の改良から行ないます。



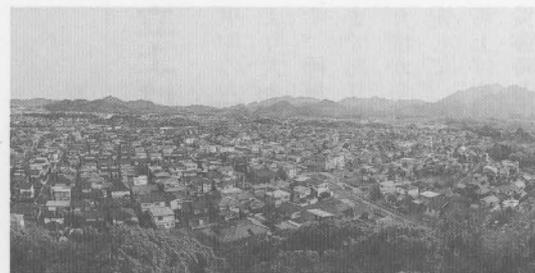
大堂 園治

問 改革は住民と共に 実行されることが重要

効な手段で、住民福祉を
るうえで重要な政策である
と認識していますが、どの
ような条件が整備されれば
再協議を考えますか。

問 改革推進の3本柱であ
る、財政力をどのような手
段で高めていくのですか。
答 人口増や、企業誘致な
どを実施し、自主財源を高

てはどうですか。
答 給与審議会に答申して



住民参加の町づくり

おり、その結果を尊重した
いと思っています。
問 住民との協働によって
改革を進めていくうえで、
町の情報を積極的に開示し
ていくことが重要と思いま
すが。

民間に委託します。指定管
理者制度の導入についても、
検討していきます。
問 広範囲にわたるプログ
ラムメニューが検討されて
いるようですが、実行期間
も多年になると思われるし、
成果目標を明確にすること
と進捗管理をしっかりと行な
うことが、改革の成否を決
める重要な手法であると思
えますが。

答 協同を図りながら推進する

問 構造改革推進にあつた
ての決意は。

答 町政刷新のため、重大
決意で推進していきます。

問 合併は行財政改革の有

答 私もそのように認識し
ていますが、昨年の住民投
票の結果などを踏まえて、
今の時点では考えていませ
ん。

めるとともに経常経費の削
減を断行していきます。
問 町長自ら先頭にたち、
身を切る姿勢を示す意味で、
大幅な給与カットを宣言し

てはどうか。

てはどうか。



平山 弘

イオン九州出店について

問 糠塚・黒山地区のイオ
ン九州出店予定地は、農業
振興地域で優良農地です。
町の基幹産業の農業振興に
ついてどのように考えてい
るのですか。

答 町は財政的に厳しいの
で、歳入増と歳出削減に努
める必要があります。イオ
ン九州の出店は総合的に考

えて、町づくりの課題の克
服になるし、雇用や税収面
で直接効果をもたらし、住
民生活向上が期待できます。
農業も厳しいので、総合的
に判断して農業振興に務め
て行かなければなりません。

問 商業の活性化でも同じ
ことがいえます。イオンの
出店は、従業員が七百〇八
百人の大型施設であり、駅

前でなく町全体の業者にも
のすこい打撃になるのでは。
答 イオン進出が確定すれ
ば、町において二つの核が
できます。競合する面、相
乗効果の面もあり、大きな
影響があると思うが、競争
しながら発展できると考え
ています。

模はサンリブ、ゆめタウン
を上回るので、壊滅的な打
撃にもなりかねません。
答 イオン九州と共に自分
の店を拡大しようという人
もいます。商売の戦略が個々
の店にあり、店の知恵と創
意工夫で戦略を練られると
思います。

産組合、区長には説明した
が、地域住民には何の説明
もありません。
答 イオン出店の
内容・規模が明らかになりし
だい説明を行なっています。

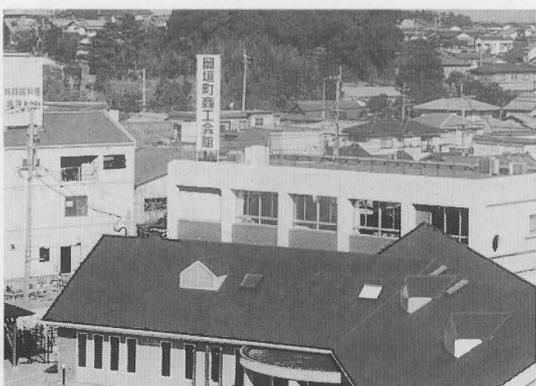
問 大型店九州イオン進出に伴う効果は

答 雇用、税収面で効果

競合できないと思いま
す。イオンの資本と店の規

道路交通、環境破壊、
青少年健全育成などの問題

商業の活性化に影響は



商業の活性化に影響は

構造改革について

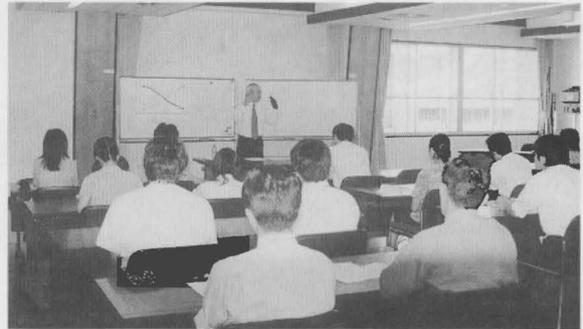
問 国民に対してあまりにも冷酷な政治が行われています。こういう中で住民の福祉の増進を図ることを基本としている自治体の役割はいつそう重要になっていきます。

岡垣町として住民の暮らしを守るため全力を果たすよう求めます。構造改革の基



久保田 秀昭

本理念は何ですか。地方自治体の目的は



職員の構造改革の研修会

「住民満足度の追求・向上」と思っています。構造改革はその目的を達するため

の手段で、これから先の財政状況への対処や、それに伴う職員数の減少等を鑑みると効率的な行財政経営を目指さざるを得ません。問題はそれを実現するための手法と仕組みです。それを「住民と行政との協働」で進めようというのが今回の構造改革の骨子です。

この構造改革を進めるにあたっては、行政が本来果たすべき役割の範囲の見直しを「住民との協働力」の強化を進める中で行います。

この手法の倫理としてニューパブリックマネジメントを取り入れており、住民を公共サービスの顧客と見ることなどを特徴とする市場メカニズム取り入れた考え方

問

構造改革は、住民を主権者扱いせず

に顧客扱いするものだから、進めにくい

です。町長が言うように住民が顧客と見る思想です。住民は主権者ではないのですか。

答 住民は主権者ですが、行政との関係ではサービス提供を受ける顧客です。住民を主権者と見ていません。だから住民福祉の向上ではなく、今回住民の

満足度という評価を使っています。今までの地方自治という考え方、その中で住民主権という所から見ると、ずれるのではないですか。

答 考え方はいろいろな立場があります。ずれないような方向で進めていきたいと思っています。

問

情報プラザ人の駅の利用は

答 月平均四、六六〇人が利用

情報プラザ人の駅の利用計画について

問 平成16年5月に「いつでも、誰でも、必要とする情報の収集と発信」をテ

マに、交流・ふれあい・にぎわいの施設としてオープンした人の駅の情報発信状況は。情報発信については、主要な公共施設に設置しています。プラズマディスプレイによる映像情報の配信及びホームページによる情報の発信をしています。今後

後にも人の駅の機能を有効活用しながら、リアルタイムな情報の発信を行うようにしています。また、MKV岡垣放送など民間放送業者がつかって来た経験とノウハウも有効活用し、地域に根ざしたより多くの番組制作と情報発信に務めます。人の駅の利用状況は。

答 平成17年1月での利用は、月平均四、六六〇人の



利用者が年々増加

利用があり、利用状況は研修室、会議室の利用が最も多く、全体の利用率については、開館当初は二六パーセントであったが、施設の利用を促進するための近隣市町村へのPR活動を行ってきた結果、現在は約五〇パーセント以上になってきています。

男女共同参画社会の推進について

男女が共に対等なパートナーとして、能力が発揮できる社会を目指して。

問 平成17年度の推進の方向は。

答 男女共同参画社会の実現は、住民の間に意識を浸透させることがもつとも大切であり、必要です。地道な啓発活動を継続し、あらゆる機会を活用して、積極的に取組みます。

賛成少数否決

介護保険制度の改善を求める意見書〈要約〉

提出者 平山 弘

賛成者 久保田 秀昭

介護保険制度改革関連法案を撤廃し、国庫負担の引上げによる保険料、利用料の減免措置の創設、介護施設の基盤整備など、安心して必要な介護サービスが受けられる制度への改善を行なうよう政府に求める。

賛成少数否決

障害者に過重な負担を強いる「応益負担」導入をやめ、障害者福祉制度の充実を求める意見書〈要約〉

提出者 久保田 秀昭

賛成者 平山 弘

障害者が福祉サービスを利用するさい、費用の1割を負担する「応益負担」を盛りこんだ障害者自立支援給付法案が提出され、さらに、障害者の3医療制度の公費負担を見直し、医療費の大幅負担増を障害者に求めようとしている。

障害者の収入は、ほとんどが年金であり、このような負担には耐えられない。この事から、政府に対して応益負担の導入をやめ、障害者に対する医療費の負担増は行なわない事、また扶養義務者負担制度の完全撤廃、障害者の所得保障制度を政府に求める。



勢屋 康一

問 百円均一の「岡垣コミュニティバスふれあい」四月一日より運行開始

ふれあいバスは、当初は60歳以上の方の利用で計画が進められていたが、変更により大人から子どもまで誰もが利用できるようになりました。団地内の路線も改善され喜んでいますが、ただ一点、西高陽区と南高陽区の間を通っておらず住民の利用に不便が出てくると思われますが。

答 路線については関係区

長と協議をし決定しました。ふれあいバスより大きなバスも通っている、通れないことはないと思います。両区の間を通る事が住民サービスへつながります。後になって住民要望が出てきた場合はぜひ検討願います。強く要望します。もう一点は西鉄バス(三十五人

問 糠塚のバス停の位置変更できないか

答 前向きに変更していきたい



コミュニティバス利用者も増加傾向

乗り)で糠塚、元松原、中央公民館、JR海老津駅線の糠塚停留所の位置の問題です。住民のほとんどは停留所の位置から離れたところに住んでおられます。特に高齢者にとっては大変です。停留所の位置を糠塚公民館(国道495線沿い)

までのばしてほしい。黒山や元松原の停留所は495線沿いにあります。現在の位置では福祉サービスにならない。停留所の位置を早急に変更すべきです。

答 西鉄と協議をしたが、位置の変更には6ヶ月位かかるため、とりあえず運行を開始したい。糠塚停留所の位置については、これから前向きに検討していきます。

一歩先の防災

▼役場に設置の震度計

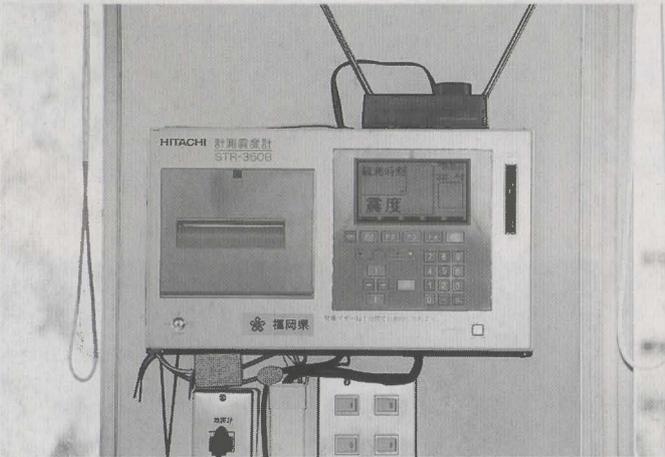
気象庁による地震速報は、気象庁、市町村、防災科学技術研究所が設置した震度計のデータにより情報が提供されています。

例えば、各市町村設置の震度計は地震を感知すると、データが福岡県消防防災安全課に直接送信されるようになっていきます。県に送信されたデータ（二〇九ヶ所）は、そのまま気象庁に送られ、気象庁から各テレビ局などに情報が提供されています。

ただ、テレビなどで震度発表のある市町村とない市町村があります。これは市町村設置の震度計が情報を県へ送信する時間の違いがあり、気象庁は一報を地震発生から五分以内に発表する事になっているため、速く届いたデータから順に知らせるためです。



3月20日の福岡県西方沖地震で岡垣町で被害が出ました



役場に設置されている震度計

編集後記

福岡県西方沖地震、マグニチュード7、震度6。思いもかけない大きな被害だった。私にとって、それこそ晴天の霹靂（へきれき）。まさか福岡でというものでした。

岡垣町は震度4だった。人身被害はなかったが、半壊や屋根瓦の落下など数十軒の被害がでた。亡くなられた方、被災された皆さんにお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、世の中で四つの恐ろしいものは、地震、雷、火事、親父といわれている。しかし今では親父はあたらないうる人が多い。岩波ことわざ辞典によると、江戸後期のある本に「地震はこはい。強き時は家作はいふに及ばず、山もくずれて大地もさける。一番恐ろしいものといへば、又一人進みいでていはく、親父も怖い、毎度眼のいずるほど叱られる。世にいふ通りに地震雷火事風親父、是らが怖いものなり」とあると。

皆さんは、風と親父についてどう思われていますか。

平山 弘

議会広報委員会

- 委員長 竹内和男
- 委員 土屋清資
- 委員 曾宮良壽
- 委員 平山弘
- 委員 大堂園治